

あいおい保険グループ 新中期経営計画（2005～2006年度）

『あいおい IOI アクトトゥー ACT』 - 革新する意志と行動 - を策定

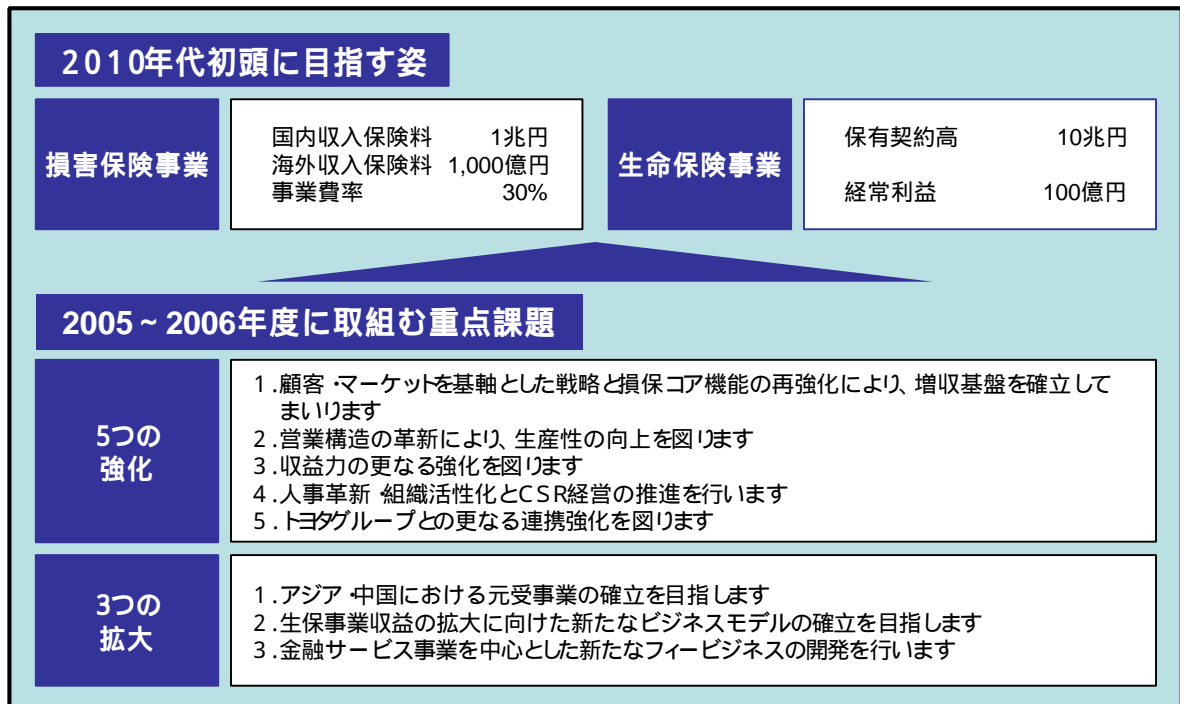
2005年6月2日

あいおい損害保険株式会社（社長 児玉 正之）は、2005 - 2006年度の2カ年を計画期間とした新中期経営計画「 IOI ACT - 革新する意志と行動 - 」を策定しました。

当社グループは創業以来、新会社としての経営基盤の整備や経営の効率化に取り組むとともに、海外事業への投資など将来の成長に向けた様々な準備を行ってまいりましたが、創業第1ステージと位置付けたこれらの取組みに目処をつけ、具体的な成果を実現する創業第2ステージのスタートを切ったところであります。

この第2ステージにおける飛躍に向けて、今般、新たに当社グループの長期的に目指す姿を掲げるとともに、自由化・規制緩和の進展等による事業環境・競争環境の変化を踏まえ、現中期経営計画を見直し、「5つの強化」と「3つの拡大」を柱とする新中期経営計画を策定しました。「IOI ACT - 革新する意志と行動 - 」と名づけた本計画は、新たなステージに果敢に挑戦していく当社グループの決意が込められており、目標の達成に向けて全役職員一同、全力を挙げて取組んでまいります。

1. 2010年代初頭を目指す姿と2005～2006年度の重点課題



2. 中期基本戦略

中期基本戦略

1 国内損保事業における増収増益構造の確立

1. 顧客・マーケットを基軸にした増収力の確立
 お客様第一の事業運営と現地・現物主義により、地域に基軸を置いた営業展開、成長マーケットの迅速・確実な捕捉と損保コア機能の再強化による確固たる増収基盤を確立してまいります

2. 会社構造革新による生産性・効率性の向上
 営業構造の革新とITを活用した効率的販売・事務スキームの構築により、生産性・効率性の一層の向上を図ります

3. 収益力の強化
 ロス改善対策および商品ポートフォリオの変革により総合損害率を改善するとともに、資産運用力の高度化を図り、収益力の強化を図ります

2 事業領域の拡大による収益源の多様化

国内損保事業の生産性の向上により投資余力を創出し、海外事業、生保事業、金融サービス事業等、成長分野へ積極的に経営資源をシフトして、新たな収益源を確立してまいります

3 活力にあふれ革新し続ける企業風土の醸成

人材育成・研修の強化を中心とした“人事革新”と“コミュニケーションとチームワーク”を基軸にして、社員能力・士気の向上と代理店とのパートナーシップの強化を図り、活力あふれ革新し続ける企業風土を醸成してまいります

4 品質最優の企業基盤の構築

投資余力の創出と株主価値向上に向け、財務基盤の強化と資本効率の向上を図るとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションを基軸にしたCSR経営の推進により、信頼性の高い企業基盤を確立してまいります

5 トヨタグループとの更なる連携強化

トヨタグループとの連携を、国内損保事業はもとより、あらゆる分野で更なる強化を図り、経営資源の相互活用を図ります

3. 中期経営目標

損害保険事業（除く自賠責政府再保険廃止影響）			生命保険事業		
単位：億円/%			単位：億円		
	2004年度	2006年度		2004年度	2006年度
正味収入保険料	7,609	7,980	個人・個人年金新契約高	9,702	13,500
正味損害率	65.2	59.4	保有契約高	48,290	65,000
正味事業費率	36.1	35.4	うち個人・個人年金	38,781	52,000
コンバインドレシオ	101.3	94.8	実質経常利益（ ）	33	50
経常利益	223	290	標準責任準備金積増前		
当期利益	161	180			
海外収入保険料	285	410			

(参考) 中期基本戦略の概念図

